



記念式典

北部方面隊創隊65周年記念行事



第740号
平成29年12月8日

方面總監要望事項

よく考えて、
前へ!

陸上自衛隊
北部方面隊広報紙
発行：北部方面總監部広報室

北部方面隊
ホームページ
<http://www.mod.go.jp/gsd/nae>



式辞を述べる總監

北部方面隊 總監 田浦 陸将は、10月13日から15日までの間、札幌・丘珠、真駒内駐屯地及び札幌市内ホテル等各施設において、北部方面隊創隊65周年記念行事を行った。札幌駐屯地において行われた記念式典では、創隊記念日を一同で祝うとともに方面隊の隊員としての誇りを堅持することにより、更なる一体感を深めることができた。記念式典において、總監は、「北部方面隊は、北海道の防衛・警備のみならず、他方面隊における各種事態発生に際しては、陸上自衛隊最大の編成・装備を有する方面隊として、他方面隊を増援する任務を帯びており、まさに「最も強い決戦戦力」でなければなりません。また、国内における大規模災害等に際しては、迅速に展開する増援部隊として、国外における国際平和協力活動等に関与して、部隊の派遣を期待され待機任務を付与されている唯一の方面隊として、北部方面隊は、



祝賀会食

有事はもちろんのこと平時においても戦略的に運用される役割を担っております。「最も強く、最も頼もしい方面隊」の実現のためには、北部方面隊約三万一千名の全隊員が一丸となり、「よく考えて、前へ」進化し続けることが重要と考えております。北部方面隊の隊員であることの誇りを胸に、道、市町村を始めとする関係機関や地域の皆様と緊密な連携を図り、歴代總監及び隊員の方々に感謝の意を込めてきた良き伝統をよ

り発展充実に努め、隊務に精励し、日本国民の、そして道民の皆様への負託に応えるべく、精進し続けることをここにお願い申し上げます」と式辞を述べた。

記念式典に引き続き、祝賀会食を北海道自衛隊協力会連合会、公益社団法人隊友会北海道隊友会連合会、北海道自衛隊退職者雇用協議会、公益社団法人全国自衛隊家族会北海道地域協議会の協力四団体との共催で行い、北海道内・外から多くの方々の出席を得た。会食では、總監挨拶に続き、自衛隊協力会連合会会長伊藤氏が「私どもが誇りに思う北部方面隊が一層精進で地域の皆様とともに精進な部隊になっていただくことを期待します」と挨拶した。また、元北部方面總監先崎氏による祝杯で会食が行われ、記念行事を盛大に祝った。



会同の様子

歴代總監会同・前夜祭

北部方面隊は、10月14日、前夜祭に先立ち、札幌市内のホテルにおいて、第26代總監巻氏をはじめ5名の参加をいただき、歴代總監会同を実施した。總監は、北海道隊友会連合会との共催により、前夜祭が行われ、参加者は、約500名が集まり盛大に執り行われ、自衛隊退職者・協力者等への感謝及び更なる協力機運の醸成を図った。



献花

北海道殉職隊員追悼式

北部方面隊は、10月14日、真駒内駐屯地において、遺族、北海道知事をはじめ、参賓の参加をいただき、北海道殉職隊員追悼式を行った。厳粛な雰囲気の中、慰霊参拝、式典、昼食会などを粛々と行い、殉職隊員の御霊に対し、哀悼の意を表明するとともに、自衛隊の使命達成の陰には尊い命が失われたことを改めて認識する一日となった。



隊友会会長挨拶



追悼式

遙か西方の地へ…長距離機動訓練から連隊規模演習までを実施

平成29年度 協同転地演習

本演習は、第2師団（人員約1200名、車両約400両、航空機4機）及び第5旅団（人員約650名、車両約300両、航空機2機）を実施部隊として、日出生台演習場における攻撃訓練、十文字原演習場における防衛訓練、健軍駐屯地及び奄美大島における対空戦闘訓練、奄美大島における兵站業務訓練を実施した。

本演習において、関係部外機関等との調整、部隊の機動計画の作成等を演練し、機動展開能力を維持・向上することができた。北部方面隊は引き続きフォースプロバイダーとして、作戦遂行能力を向上させ、統合機動防衛力の構築に向け邁進する。



陸路を走る96式装輪装甲車



米軍汎用揚陸艇による輸送



日出生台演習場での訓練



民船による輸送



航空自衛隊による輸送

北部方面隊は、10月23日から12月4日までの間、多様な事態に有効に対応するため、各種輸送手段を活用した西部方面隊管内までの長距離機動訓練を実施するとともに、現地における連隊規模の演習を実施して、方面隊の即応性の向上を図ることを目的として、平成29年度協同転地演習（連隊等転地）を実施した。

本演習の特色として、民間を含む陸海空路（民間船舶、航空自衛隊、米軍船舶等）を使用した長距離機動に引き続き、西部方面隊が実施する平成29年度西部方面隊実動演習（鎮西29）に接続した連隊規模演習を実施した。

一撃必中！相互連携！！

平成29年度 北部方面隊 戦車射撃競技会

競技会結果

- 部隊対抗の部
 - 優勝 第72戦車連隊
 - 準優勝 第73戦車連隊
- 中隊対抗の部
 - 優勝 第72戦車連隊第5中隊
 - 準優勝 第72戦車連隊第4中隊
- 小隊対抗の部
 - 優勝 第72戦車連隊第2中隊第2小隊
 - 準優勝 第71戦車連隊第3中隊第2小隊
 - 第3位 第73戦車連隊第3中隊第2小隊
 - 第4位 第72戦車連隊第5中隊第2小隊
 - 第5位 第73戦車連隊第5中隊第2小隊
 - 第6位 第2戦車連隊第3中隊第2小隊
- 戦車直接支援部隊等の部
 - 優勝 第7後方支援連隊第2整備大隊
 - 第2戦車直接支援中隊



戦車の横行行進射撃



応援に熱が入る各部隊

平成29年度北部方面隊演習場秋季定期整備

～道場の整備は我らの手で～

北部方面隊は、11月1日から11月10日までの間、北海道大演習場、矢白別演習場、上富良野演習場、然別演習場及び鬼志別演習場において、各師・旅団長及び直轄各部隊長を整備担当者として、平成29年度北部方面隊演習場秋季定期整備を実施した。

方面隊の道場、ひいては陸上自衛隊の道場を整備する「道場化」は、陸上自衛隊のDNAの継承、自衛隊の実動的な抑止・対処能力の維持・向上のために極めて重要な任務である。各部隊は、演習場の機能の拡充及び機能の回復により、演習場が本来持つ潜在能力を引き出すことを重視して道場化の推進を図るとともに、「万事作戦を基準」として指揮幕僚活動を演練した。また、最も強く、最も頼もしい部隊、健全な隊員を育成するため、心情（身上）把握及び服務指導を重視しつつ隊務分析に基づき本整備間に実施すべき事項を案出し、あらゆる機会を捉えて隊務の総合一体化を図った。

各部隊は、本整備の終始を通じ、「自らの道場は自らが良くする」という強い信念をもって任務を遂げた。



渡渉点整備（矢白別）



戦車射場整備（北大演）



総合戦闘射場整備（上富良野）



射場整備（然別）

第301・302沿岸監視隊

「内閣総理大臣特別賞状」受賞



内閣総理大臣(前列中央)との記念撮影



内閣総理大臣からの表彰状の授与

第301沿岸監視隊(隊長 森2佐)及び第302沿岸監視隊(隊長 小俣2佐)は、平成29年11月8日、総理大臣官邸において、内閣総理大臣特別賞状を受賞した。

表彰式で総理は、「ただひたすら国民のため、24時間365日、危険を顧みず黙々と任務に精励する自衛隊は、正に我が国を支える緑の下の力持ちであります。しかし、その自衛隊が任務を全うするためには、今日表彰された皆さんの力が欠かせません。強い使命感と責任感を持って、黙々と任務に当たり、国民の負託に全力で応えてきた隊員の皆さんを私は誇りに思います。国民の命と平和な暮らしは、間違いなく皆さんの献身的な努力によって守られています。隊員を支えてくれている御家族の皆様にも、この場を借りて心から感謝申し上げます」と述べた。

北海道大学 新渡戸フェローゼミ協力

北部方面隊は、平成29年10月27日及び11月11日の両日、北海道大学が実施した、新渡戸フェローゼミに協力した。新渡戸フェローゼミは、北海道大学内にある新渡戸カレッジの主催で、試験により選ばれた学生が、9個のゼミに分かれ、それぞれの命題について研究するという、人材育成プログラムである。



89式装甲戦闘車の説明



航空機をバックに記念撮影

本協力は、その中の石川ゼミにおいて「グロバリゼーションの終焉の中で、我が国の安全保障について研究する学生に対して、自衛隊の任務、役割、各種活動等について理解を促進することを目的として実施したものである。10月27日、当初東千歳駐屯地において陸上自衛隊の概要説明、主要装備品の展示及び体験喫食を実施した。引き続き航空自衛隊千歳基地において、海上自衛隊、航空自衛隊の主力戦闘機の展示を実施した。このうち、陸・海・空3自衛隊の幹部自衛官との懇談を実施した。

シヨンの終焉の中で、積極的に質問の我が国の安全保障について研究する学生に対して、自衛隊の任務、役割、各種活動等について理解を促進することを目的として実施したものである。11月11日には、北海道大学内において、総監部防衛部防衛課長(末原1佐)が、ゼミの学生だけでなく、一般の学生も対象に防衛に関する講義を実施した。



防衛課長による講義

～心の健康相談室～

(第190回) 人生に潤いを与える言葉

秋氏の随縁、吾が儒の素位、
四字は是れ海を渡るの浮囊なり。
寓に随いて安んぜば、
則ち入るとして得ざるはなし。

(後集・135)

古くは、『中庸』にこう述べています。「其の位に素(い)して行ない、其の外を願わず」と。その意味するところは「現在の自分がいるべき地位に使命を自覚して、それを果たすように努力し、それ以外のことは考えない」というのです。自分の立場をしっかりと守り、周囲に目を奪われることなく、いまの境遇を全うすることの大切さを述べて全篇を終えるのです。

心の健康相談・メンタルヘルス・カウンセラー
根本和雄

隊員自主募集の推進!

次世代を担う隊員を我々の手で

隊員による募集活動については、昨年度までは「縁故募集」と称していたが、今年度から「隊員自主募集」に変更された。

隊員自主募集については、右のポスターにあるとおり、これまでと同様に募集情報の対象者が入隊に結びつけば、その人数により第5級賞詞から第3級賞詞までが授与される。

昨年度は、方面隊内で第3級賞詞が7名、第4級賞詞が14名、第5級賞詞が339名授与された。

今年度も半ばを過ぎたところではあるが、引き続き部隊ごとに定められた年度目標達成のため、北部方面隊全隊員が広報官となり、「次世代を担う後輩は、自分たちの手で獲得する」という気概で隊員自主募集にあたり、獲得した情報は、部隊を通じて速やかに各地方協力本部へ情報提供し、部隊と地方協力本部とが緊密に連携して、昨年度より一名でも多くの隊員を獲得することを期待する。

必要です

あなたの持つてるその情報!

情報の対象が入隊に結び付けば表彰の対象になります。

- 第3級賞詞 (隊員3名)
- 第4級賞詞 (隊員1名)
- 第5級賞詞 (隊員5名)



札幌にも雪が降り、名物のさくら電車が行き出し、もうすぐ厳しい冬の到来を感じさせる今日この頃である。街はクリスマス一色から、しめ縄鏡餅などの正月用品が店頭を並び、年の瀬が近いことを実感する。「師走師が走るほど忙しい時期であること」から12月のことを「師走」と呼んでいるが、年末はとにかく忙しいということである。一年間馬車馬のように走ってきて、気がつけば年末であることを知り、ふと立ち止まる。そして、今年一年何をやってきたのだろうと、走ってきた道を振り返る。元旦に今年は何をするぞ、などと大きな目標を掲げ走り出すが、結局成し遂げられなかったという方も少なくないのではないかと。来年こそは何となく成し遂げたいものである。

読者の皆様、今年一年あかしやを愛読いただきまして、誠にありがとうございました。来年は、皆様にも雪が降り、名物のさくら電車が行き出し、もうすぐ厳しい冬の到来を感じさせる今日この頃である。街はクリスマス一色から、しめ縄鏡餅などの正月用品が店頭を並び、年の瀬が近いことを実感する。「師走師が走るほど忙しい時期であること」から12月のことを「師走」と呼んでいるが、年末はとにかく忙しいということである。一年間馬車馬のように走ってきて、気がつけば年末であることを知り、ふと立ち止まる。そして、今年一年何をやってきたのだろうと、走ってきた道を振り返る。元旦に今年は何をするぞ、などと大きな目標を掲げ走り出すが、結局成し遂げられなかったという方も少なくないのではないかと。来年こそは何となく成し遂げたいものである。

編集後記